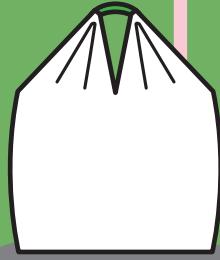
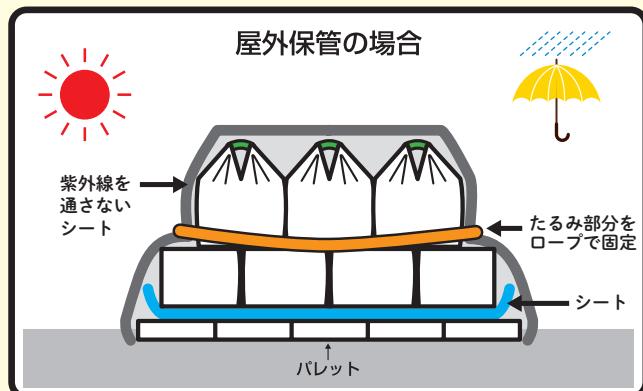
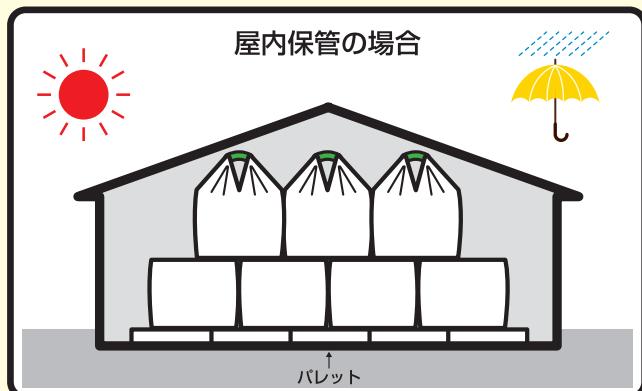


肥料用フレコンバッグ 取り扱いの 注意事項



フレコンバッグ取り扱いの際は、作業時の落下あるいは破損等における農作業事故を防止するため、下記の事項を厳守し、安全な作業をお願いいたします。

保管方法



⚠️ 日光の当たらぬ屋内保管を原則としてください。やむをえず屋外で保管する場合は、紫外線を通さないシートなどを使用してください。また、たるみが無いようにロープ等で固定（風スレ対策）してください。一般的のブルーシートは紫外線を通します。

⚠️ はい積みは2段以下とし、ひな段積みをしてください。
また下面にパレットなどを敷き地面に直接置かないでください。

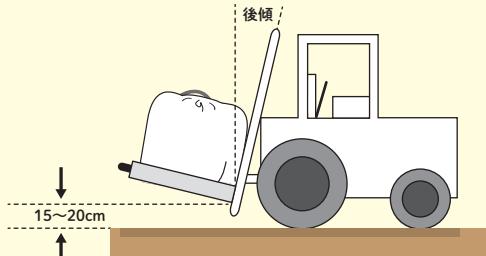


フォークリフトなどの作業

運搬

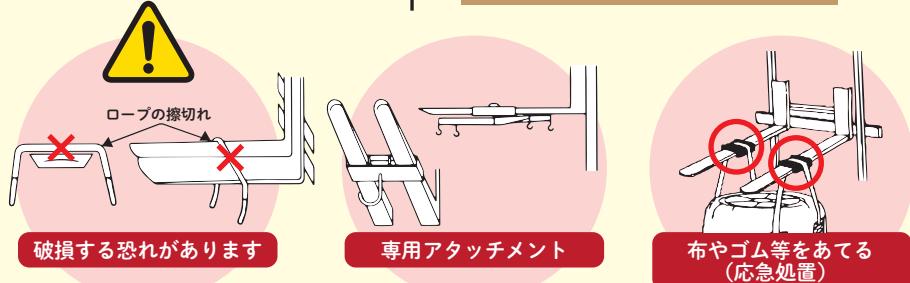
⚠️ 作業機は十分に整備し、作業に必要な資格を取得して使用してください。

⚠️ 凹凸地面での、スピードの出しすぎ・急停車・旋回等はさけてください。
※積込み以外の移動は原則パレットを使用ください。



爪へのセット

⚠️ 角張った爪に直接フレコンバッグを吊上げると、吊り部とロープやベルトが破損する恐れがあります。専用のアタッチメントなどを使用するか、布またはゴム等を巻いてご使用ください。





肥料用フレコンバッグ 取り扱い上の注意事項



吊上げ

⚠ 斜め吊り・片吊り・横引き、また急激な吊り上げ・下げは破損の原因になります。



片吊り



横引き



吊上げ・排出作業の際にはフレコンの運動範囲内に入らないでください。
特に下には絶対に入らないでください。

下に入らない

排出作業

⚠ 排出が進むにつれて、フレコンバッグが肥料の山に付いてしまい排出が止まった場合は、少しずつ吊上げてください。

⚠ 底部に切込みを入れる際は、20cm程度に短く切り、排出をゆっくりと行ってください。底部を大きく切ると肥料が残った状態で急に内袋がズレ落ちることがあります（作業や施肥機に支障きたす場合があります）。



十字に20cm幅で切った場合



十字に60cm幅で切った場合

紹介動画



切り幅 20cm(目安)^{※実寸}

ご使用前のお願い(点検)



- 落下事故・荷崩れなどの農作業事故防止のため、ご使用前には必ず以下の点検をお願いします。
 - ・吊り部および接合部がすり切れていないか、糸のほつれや吊り部と本体が取れかけていないか。
 - ・本体側面および底部に傷や穴などがないか。
- 不具合等が発見された場合には作業を止めて、最寄りのJAにご連絡をお願いします。

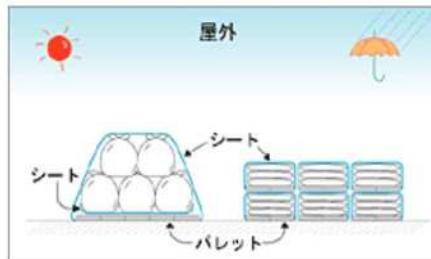
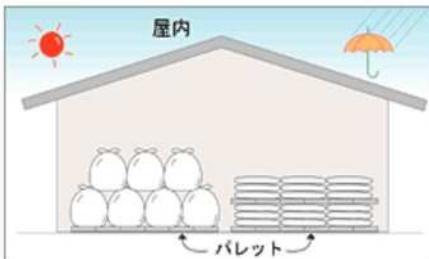
肥料保管方法の注意事項

【紫外線による袋の劣化・損傷した事例が発生】

- 肥料袋(20kgポリ、フレコンバッグ)は、直射日光にさらされると、**短期間でも劣化**する場合があります。



- 日光の当たらない**屋内保管**が原則です。やむをえず屋外で保管する場合は、**紫外線を通さないシート**などを使用してください。※風スレ対策にも注意。



フレコンバッグの取り扱いの際は、作業時の落下あるいは破損等における農作業事故を防止するため、安全な作業をお願いします。



ホクレン

フレコンバッグ作業時の注意事項

【作業中にベルトやロープが破損した事例が発生】

- フォークリフトの爪等の**接触する部分が角張っている**と**破損**する恐れがあります。



【ベルト】
使用していた作業機の爪



!
角張った爪に直接
かけると破損の恐
れがあります。

- アタッチメント等をセットしてください

マジックベルト フレドメ



※ホクレンの肥料HP「肥料の取扱いについて」も併せてご確認ねがいます。